

中村小学校グリーンキーパーズ

校庭芝生キャンプを通じて、地域のつながりを生む。



1日目 15:00 みどりの芝生で自由に遊ぶ

当日はあいにくの小雨模様。じめじめ寒いと気兼ねしていたけれど、裸足で走り回ったり、寝転がったり、芝生の上で元気よく遊ぶ子供の姿がたくさん！「遊びの幅が前より広がった」「芝生を大事にしていこうという気持ちが芽生えている」と多くの保護者・小学校職員の方が口にしていました。

15:30 声を掛け合いつくるカレー

夕食に向けてのカレー作り開始。薪割り・野菜切り・火おこしなど、ワクワクするような作業がたくさん。あちこちで「こうやるんだよー！」と対話が聞こえます。子どもと大人が一緒になってつくったカレー、出来上がりは苦労して作った分、「おいしい！」「うまい！」とみんな大満足、とてもおいしそうに食べていました。

19:30

夕食の後は体育館でのレクリエーションと花火。慣れない力仕事で疲れてしまっただけで、隅で眠ってしまうお父さん方も。でも子供たちは楽しくて仕方ない様子、走り回ったり、カルタ大会も大盛況。

中村小学校の芝生を管理している“中村小学校グリーンキーパーズ(以下NGK)”が中心となって、「芝生の校庭でキャンプ！」というイベントが2日間催されました。内容は、校庭の芝生にテントを張り、そこで一晩を明かすというもの。NGK、先生、生徒、保護者、地元ボーイスカウト、地域住民など200名を超える人が集まりました！

まち活① つうしん

ねりままちづくりセンター 取材日:2008.08.23-24

2日目 8:00 芝生メンテナンスをみんなでやろう

朝食のホットドックとスープを食べた後、本来はここで芝生のメンテナンス。でもこの日は雨で地面の状態もよくないので、全員でゴミ拾いと簡単に雑草抜きをしました。『芝生の管理は、使う人皆で行っていく必要がある』というメッセージを伝えるとても大切な作業なのです。

9:30 閉会式

テントをたたんで、さて解散。子どもたちは疲れ知らず元気に下校。大人は少しぐったりしてたような…。



タイムスケジュール

1日目

- 14:40 開会式
- 15:30 カレー作り
- 17:30 食事
- 18:30 テントの設営
- 19:30 花火
- 22:00 就寝

2日目

- 6:00 起床
- 6:30 ラジオ体操
- 6:50 朝食作り
- 朝食
- テント撤収
- 8:00 芝生メンテナンス
- 9:30 撤収作業
- 10:30 閉会式

テントでお泊り！



→ 転んでもふかふかで痛くない！



← 火をおこすための薪を運ぶ



→ 中にまだ入れるかな？



← カレーのルーは、“だま”にならないようによくかき混ぜる



→ 夏の夜はやっばり花火だよ



← 疲れを知らない子どもたちは、カルタに夢中

キャンプ参加者と校長先生の言葉

「学校、学年といった枠を超えて様々な人と関われるのがいいね。」

こう話していたのは、ある保護者の方。「キャンプを通して知り合った人たちが、まちでまた会ったとき、お互いに挨拶ができる光景が生まれてほしい」と語っていたNGK代表・名川さんの想いは、キャンプを通して確実に広がっているようです。このような活動が継続的に行われていくことで、地域の活性化・良好な地域コミュニティの形成へとつながるのだと実感したひとことでした。

「子供たちに良い思い出をつくってあげたい！」

子供たちにとって、楽しい夏休みも残すところあと一週間。中村小学校の校長先生は「子供たちに良い思い出をつくってあげたい、そういう思いで皆活動しています」と話していたように、普段なかなかできないことがいっぱい詰まった2日間は、子どもたちにとって忘れられない思い出となったのではないのでしょうか。

中村小学校グリーンキーパーズの

中村小学校職員の方に

聞きました。



Q. 芝生を維持管理していく上で大変なことはなんですか。

芝生は年に2ヵ月程度の養生期間が必要だということ、校庭を使用している子ども達やクラブ活動の利用者に知ってもらうことは、なかなか時間がかかるものです。今回のキャンプのような活動を通じ、理解を深めてもらうことで、調整等もしやすくなっていくのではと期待しています。

Q. 中村小学校グリーンキーパーズの今後の活動についてお聞かせください。

これまでも幾つかイベントを開いてきましたが、より多くの保護者および町内会の方に参加を呼びかけ、芝生の良さを知ってもらいたいと思っています。

練馬まちづくりセンターは

“まちづくり活動助成事業”で、

中村小学校グリーンキーパーズを応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、まちづくり活動を行っている団体を支援する事業です。当センターのまちづくり活動助成には3つの部門があります。

【はばたき部門】身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動への助成です。

【たまご部門】これから身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動に取り組むにあたり、事前の学習をおこなうこと に対しての助成です。

【テーマ部門】身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創りだす活動への助成です。

練馬まちづくりセンターとは…

練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

中村小学校グリーンキーパーズ (NGK) について



設立 2006年3月

構成員数 各団体代表者25名
(児童保護者全員)

活動場所 練馬区立中村小学校

活動テーマ

“使える”校庭芝生の維持管理と芝生を通じた地域コミュニティ作りを推進する。

活動実績

校庭芝生管理のほか、グランドゴルフ大会や野球教室、野点の会などの芝生を活用したイベントの開催など

ホームページ : <http://shibafu.jp>

団体の連絡先 : info@shibafu.jp



取材日記

練馬まちづくりセンターにインターンシップとして2週間勤務している鈴木です。今回中村小学校のキャンプを取材し、活動の様子を記録にしようと参加させていただきました。あいにくの雨模様で肌寒い天候でしたが、キャンプは大いに賑わい、参加した人々からの熱意や楽しさが強く伝わってきました。地域の大人と子供と一緒に一つのことをするという機会はなかなかあるものではありません。活動をする人たちの熱い想いがあったからこそ大成功に終わったのだと思います。こうした活動が続いて、今の子供たちが将来また、子供たちと一緒に活動を行うようになっていける伝統ができてほしいと思います。地域の人たちの熱意が集まってできた中村小学校の芝生。近くを通る機会があれば、ぜひ一度校庭を眺めてみてはいかがでしょうか。